

クマに注意！！

近年、利府町内でクマの目撃情報が寄せられることが多くなっております。

クマを人里に近づけない、クマに出会わないための注意が必要です。

【ツキノワグマの特徴】

- 体 長：成獣で110cm～150cm 体 重：成獣で80kg～120kg
嗅 覚：非常に優れている。 視 覚：あまりよくない。
聴 覚：非常に優れている。
特 徴：全身が黒い体毛に覆われている。筋肉がたくましく、身のこなしはしなやか。
木登り、穴掘りなどのための力が強く、爪が発達している。
足は速く、時速40km程度に達する。行動圏は30～50㎢程度。
子グマは生後1年半ほどは母グマと一緒に行動する。
行 動：春と秋に食べ物を求めて活発に行動する。
食 べ 物：山菜、栗やドングリなどの木の实、柿等の果物やハチミツが好物。
生ゴミやコンポスト（堆肥）をあさることもある。

クマを人里に引き寄せないようにしましょう！

果樹や野菜の
収穫はお早めに！



生ごみの
管理徹底を！



建物の蜂の巣は
放置しないで！



クマが潜みやすい
ヤブを刈りましょう！



クマに出会わないために

出没情報の確認

新聞・ラジオ、利府町からの出没情報を確認し、クマが出没している場所にはできるだけ近づかないようにしましょう！

クマの活動する時間や場所を避ける

早朝と夕方の薄暗い時間帯の外出は控えましょう。エサとなる山菜や樹木の新芽の近くや河川敷、ヤブの近くは注意しましょう！

音を出すなど、自分の存在を知らせる

クマがいるような場所にやむを得ず近づく場合は、鈴やラジオなどで音を出して、自分の存在をクマに知らせましょう！

特にこんな時、こんな場所は危険です！

- 春** 冬眠から目覚め、食べ物を探し、活発に行動します。山菜採り等の際は要注意です。
- 夏** 繁殖期に入り、オスはかなり気が立っています。特に登山やハイキング等の際は要注意です。
- 秋** 冬眠に備えて、食べ物を探し活発に行動し、柿・栗などを求めて人里に下りてくることもあります。

熊の目撃情報があった場合は、隣接する行政区や近隣の教育施設等の関係機関に情報提供を行っています。さらに、住民に被害が及ぶ危険性がある場合は「鳥獣被害防止計画」に基づき、警察、鳥獣被害対策実施隊等の関係機関と連携して対応するとともに、町の防災同報無線等により、地域住民への周知を行っています。

クマの痕跡を見つけたらすぐ引き返すなど、細心の注意を！



それでもクマに出会ってしまったら

あわてない！

遠くにいるクマを見つけたら、あわてずクマに背を向けず、向き合ったまま後ろにゆっくり後退します。距離が十分開けばクマも落ち着きます。

騒がない！

クマに気付かれたら、騒がず冷静になることが大切です。ものを投げる、叫び続ける、走り回るなど、クマを興奮させるようなことはしないでください。

子グマであっても近づかない！

子グマの近くには母グマがいるので、子グマを見ても近づいてはいけません。



クマを目撃
したときは

利府町経済産業部農林水産課農林水産係
TEL ☎022-767-2191 まで！
若しくは最寄りの警察署へご連絡を！